

令和8年3月25日

養父市議会議長 谷 垣 満 様

予算特別委員会

委員長 深 澤 巧

予算特別委員会審査報告書

令和8年2月26日、本委員会に付託された事件は審査の結果、下記のとおり決定したので、養父市議会会議規則第101条の規定により報告します。

記

- 1 審査年月日
令和8年3月2日（月）、4日（水）、5日（木）、6日（金）、11日（水）

2 審査結果

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第3号	令和8年度養父市一般会計予算	修正可決すべきもの
議案第4号	令和8年度養父市国民健康保険特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第5号	令和8年度養父市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第6号	令和8年度養父市介護保険特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第7号	令和8年度養父市水道事業会計予算	原案可決すべきもの

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第 8 号	令和 8 年度養父市下水道事業会計予算	原 案 可 決 す べ き も の

(別紙) 議案第 3 号 令和 8 年度養父市一般会計予算に対する修正案

3 審査意見書

別紙のとおり「令和 8 年度予算に対する意見」を付する。

令和8年3月11日

養父市議会予算特別委員会
委員長 深 澤 巧 様

提出者 委員 石 本 毅

議案第3号 令和8年度養父市一般会計予算に対する修正案の 提出について

上記の議案に対する修正案を、養父市議会会議規則第92条の規定により別紙のとおり提出します。

修正案提出理由

第2条の「第2表 債務負担行為」のうち、「令和8年度学校給食センター調理配送業務」は、学校給食センターの調理及び配送業務を民間企業に委託しようとするものである。市当局が一部給食業務の民間委託を検討している事実について、議会は、議案が上程される直前に知り得たものであるが、現時点では、コスト、職員人事の適切性、指揮命令系統を含む現場環境の変化、給食の質に直結する地元農業者のかかわり方等につき、未だ具体的で説得力のある説明を得ているとは言い難い。

また、給食センターのあり方は、多様な主体がどのように関わっていくか、いわば、まちづくりそのものにつながる性格のものである。事前に幅広く意見を交わし、方針を定めていくべきものである。

以上の理由から、修正案を提出する。

議案第3号 令和8年度養父市一般会計予算に対する修正案

第2条の「第2表 債務負担行為」の表中

「第2表 債務負担行為 (単位 千円)

事 項	期 間	限 度 額
(略)	(略)	(略)
//////////		
令和8年度学校給食用精米調達業務	令和9年度	6,760
令和8年度学校給食センター調理配送業務	令和9年度～令和11年度	341,260

」を

「第2表 債務負担行為 (単位 千円)

事 項	期 間	限 度 額
(略)	(略)	(略)
//////////		
令和8年度学校給食用精米調達業務	令和9年度	6,760

」に

改める。

令和8年度予算に対する意見

第132回定例会
令和8年3月25日

予算特別委員会

1 総括的事項

令和8年度当初予算は、一般会計が204億8,200万円、特別会計が104億1,338万円の合計308億9,538万円、前年度比3億1,331万円の増額となっている。

一般会計歳入において、市民税が2年連続の増額になるなど市税は3.8%増の約23億8,000万円の見込となる。

一方で、歳出での人件費は前年度比3.5%増で総額約39億800万円となり、この5年間で約7億円の増加となった。経常経費の負担は重い。

市長は施政方針において「数年後には、財政調整基金残高が大きく減少するという危機的な財政状況が目前にせまる」、しかし「改革に着手することを恐れず、未来を切り拓くための市政を実行していく。今を生きる私たちが決断し、行動し、その結果に責任を持つ」と宣言された。

令和8年度の予算が、折しも新年度よりスタートを切る「養父市まちづくり計画第2期基本計画」の実現に向け、実効的に執行されることを期待する。行財政運営に厳格な覚悟をもってあたられたい。

2 個別的事項

【議案第3号 令和8年度養父市一般会計予算】

(1) 八鹿病院負担金については、3か年の集中期間を設け、組合構成市町で総額17億3,000万円を支援する。今後において、八鹿病院の経営改善の取組への積極的な関与と、病院組合構成市町として豊岡病院組合との但馬医療圏域での連携強化をより推進されたい。

(2) 基金繰入による財源確保が増加している。令和8年度は基金繰入金が約28億6,500万円に膨らみ合併以後最高となっている。市の財政運営での収支均衡は、基金取崩しをもって保持せざるを得ない状況になっている。市債発行と基金繰入のバランスを図り、中期的財政戦略を検討されたい。

(3) ふるさと納税（元気な養父づくり応援寄附金）は、前年度比1億5,000万円増の4億5,000万円を見込む。積極的な魅力ある新規返礼品づくりなどに取り組み、寄附者数と寄附金額を伸ばしてきた。

元気な養父づくり応援基金繰入金からの充当は、令和8年度は25事業で合計5億4,970万円となり、令和7年度比で約1億5,000万円上回る。

新年度においては寄附金の確保のみならず、返礼品の提供を通じて地域経済、観光などの活性化に相乗効果を得る方策に臨まれたい。

- (4) 民生費は前年度比 9,152 万円、1.8%増の 51 億 9,649 万円の予算枠が確保されている。その中で、特に、障がい者自主団体への補助金、タクシー等利用助成、人工透析患者通院費助成の拡充、視覚障がい者へのスマートフォン購入補助などの市独自の取組を高く評価する。今後においても、誰一人取り残さないまちづくりの大切な分野として社会福祉施策の充実を図られたい。
- (5) 畑作化など水田活用による農業の高収益化が進められている。市においても「水田収益力強化ビジョン」を策定して産地交付金を活用した農家の収益確保と耕地面積の保全を目指している。国の水田活用の直接支払交付金制度の変更点にも注視し、市内農家の収益向上にこの制度を有効に活用されたい。
- (6) 「YABUフードEXPO」の目的は、市内事業者の売り上げ増、販路拡大、ふるさと納税の増加等による地域経済の振興とされている。2度目の開催に当たっては、類似事業や初回開催時の評価・検証に基づき、見本市として商談につなげるバイヤー招致などの戦略を立て、実行委員会と目的を共有して進められたい。